

活動名	団体名	ドリームスクール実行委員会
	地域	山口県周南市
	代表者	実行委員長 中田 智加江
	支援金額	25万円
しゅうなん子どもドリームスクール		
活動概要		
<p>様々な知識を持つ地域の大人が指導者になり、子どもと共にものづくり体験や職業体験を実施し、子どもたちのものづくりや職業に対する好奇心を深め、地域の中で子どもを育てる運動を実践する。 また、空洞化が進む中心商店街の拠点でもある近鉄松下百貨店で実施することで、子どもで賑わう商店街にも寄与する。</p> <p>◆実施時期 平成23年8月11日(木)から8月16日(火) 10時から15時30分 近鉄松下百貨店6階催会場</p> <p>◆参加人数 8/11(木):188名 8/12(金):182名 8/13(土):157名 8/14(日):53名 8/15(月):114名 8/16(火):95名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員(延べ)789名</p>		



受付風景



全体の風景



ピエロとアルーンアート体験



地域の大人から学ぶドリームスクール

#### ◆実施に伴う効果

今回の活動は、昨年に続き2回目であるが、今年は、近鉄松下百貨店という商店街の拠点施設内の催会場で当団体が行うイベントにあわせ、近鉄松下も同時開催で、「水木しげるの妖怪道五十三次展」を開催し、商店街でも、土日限定でおばけ家敷を開催するなど、市民活動、百貨店、商店街がコラボしたイベントへ発展した。

今までのお盆期間中は、商店街への来客が少ないという状況であったが、このイベントをきっかけに、お盆期間が子供や親子連れで賑わうという状況を作ることができ、商店街活性化にも寄与することができた。また、ものづくり体験の内容も各指導者が創意工夫し、昨年度よりレベルアップしたことで、リピーターも多く、「来年もやってほしい。」「楽しかった。」という感想が多く、参加者の満足度も高かった。

#### ◆苦労した点

予算的には、マツダ財団の支援金に頼る形になったが、近鉄松下百貨店より会場の無償提供及び新聞折込チラシでの周知PRに協力していただき、予算を最小限に抑えることができた。

しかしながら、猛暑の影響や近郊でのイベントとの競合もあり、参加人数は昨年度より減少しており、新聞折込チラシだけでなく、様々な媒体を使った周知PRが必要である。

また、活動に係わる指導者やスタッフもお盆期間中のため、日程調整が難しい方も多いため、活動への協力者をさらに増やしていく必要がある。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- (1) 参加者の年齢が低年齢化しているため、親子で楽しめる体験や幼児でもできる体験メニューを増やすことが必要である。
- (2) 運営の安定  
今回は、材料費(実費)＋運営費(100円)を参加者から徴収し、マツダ財団からの支援金では不足する資金を賄い運営したが、今後継続的かつ安定した活動を目指すには、新たな収入源の確保が不可欠である。
- (3) 今回は近鉄松下百貨店を会場として実施したが、今後は、商店街内の空き店舗なども活用し、商店街全体が子どものものづくり・職業体験会場となるように発展させたい。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

マツダ財団の支援により、2年連続で開催することができた。

参加人数を増やすためには、新たな体験活動のメニューやコンテンツの工夫が必要である。

継続することに意義があると思うので、来年度も実施できるよう今年の実省を改善し、ステップアップしていきたい。また、近鉄松下百貨店や商店街ともよい関係ができてきたので、この関係を大切に、商店街での青少年の健全育成活動が増えるよう商店街関係者へも働きかけていきたい。